

## 第 61 回九州地区高等学校 P T A 連合会大会 報告

日時 平成 29 年 6 月 16 日

会場 熊本県立劇場・熊本学園大学

分科会 第一分科会；青少年の健全育成と P T A 活動

報告者 當郷裕之

第一分科会には佐賀県立牛津高等学校、宮崎県立宮崎西高等学校、鹿児島県立伊集院高等学校、熊本県立宇土中学・高等学校の 4 つの高校から事例発表があった。

各学校ともに特色ある P T A 活動をしており本校にも大変参考になるものが多々あった。

はじめに佐賀県立牛津高等学校は、各クラスから 3 名ずつ役員を選出し、36 名の役員を中心に活動をしているとの事。また、職業系高校ということもあり、県内の広域から通学生がおり、あえて専門部は置かず臨機応変に対応していると事。

主な活動（1）P T A 総会（2）学校訪問（3）文化祭（4）広報誌の発行の 4 つ。

その中で特筆すべきは

生徒の健全育成のための『牛津高イレブン・セブン運動』で、携帯電話やスマートフォン等の情報端末の夜間（23：00～7：00）の使用を制限するものである。スマホ依存症の原因で睡眠不足や体調不良となり、学習や部活動の成績不振を解消する事が目的となっている。

詳しくは次の 4 つである。

- ① 夜 11 時から翌朝 7 時まではモバイル端末を使わない。
- ② 友人・知人からメールやラインが来ても既読にしない。
- ③ 時間内は自室や寝室に持ち込まない。
- ④ 夜間の充電はリビングで。

アンケートを取った結果、実際に成績が上がる、生徒の体調も良くなっているなど効果が出ているとの報告。

次の宮崎県立宮崎西高等学校は、県内屈指の進学校で平成19年には理数科に接続する附属中学校が併設された学校である。同校は本校と同じく選抜高校野球に21世紀枠で出場し、応援団の最優秀賞を頂いたそうです。

主なPTA活動は(1)役員会・理事会(2)学年委員会(3)専門委員会の3つ特に専門委員会には①広報委員会②父親委員会③母親委員会があり、特筆すべきは父親委員会の「YUME講座」の実施でした。これは同校の保護者から広く講師を募り、「職業選択の過程」「やりがいや厳しさ」「実社会で要求される能力やマナー」等について語ってもらうもの。講座は保護者が実際に努めている職業についてであり国家公務員から客室乗務員まで多岐(約40業種)に亘り生徒の進路意識の高揚を図り、目標に関わる情報を得る機会となっている。

次は鹿児島県立伊集院高等学校で同校では【執行部】【研修部】【生活部】【保健体育部】【文化部】に分かれて活動している。同校地域には妙円寺詣りなどの伝統行事もあり、積極的に参加をしているとの事。また、牛津高校同様九州高校PTA大会や全国の大会などの参加の際、その成果を多くの会員と共有するため各分科会ごとに報告書を作成し、生徒便で配布をしているとの事だった。

最後は熊本県立宇土中学校・高等学校だが、同校の発表はPTA全体に活気があるように感じ素晴らしい内容であった。同校も併設型中高一貫教育校で歴史も古く「質実剛健」「文武両道」を目指す学校である。

同校のPTAのモットーは『出来るときに出来るしこ・100% Volunteer!』でやらされ感ゼロの活動を目指しているとの事。ボランティア=奉仕だがVolunteerだと志願者という意味になり、自発的に参加を促す効果があると言う。例えば校内の草刈り作業の案内も「宇土高PTA presents!草取り大作戦」と銘打ちキャッチーなタイトルにしたことで当初50名ほどの参加見積もりが300名もの参加者が有ったそうだ。また文化祭においても毎年PTAがオリジナルTシャツやタオルを制作・販売をしたり、近隣の支援センターから出店を依頼し地域とのふれあいも図っているということだ。バザーの収益金は競歩会の炊き出し費用として活用もされているとの事でした。

いずれの学校もPTAが色んな取り組みをしていたのが印象的だった。特に宮崎西高校のYUME講座と宇土高校のPTAの参加意識がとても衝撃的でした。